

事例.1

半月玲子(55)さんは、姑の様子がおかしいと気付きはじめて3か月になる。共働きの玲子さんは、姑のハルさんと同居し始めた7年前から毎日昼食の準備をしてから、出勤する。半年前くらいから、昼食を食べた形跡がなく、何となく元気がない。1番風呂が大好きだったのに、風呂に入るのも面倒臭そうで、風呂に入らない日もある。「お風呂に入らないの?」と何度も聞くと「今日は入らない」と毎日返答するので、それ以上は言ってもケンカになるので、強く言えない。着がえることも面倒なようで、風呂にも入らず着替えもしないので、近所から噂されると困るのでやめてほしい。

夕飯はハルさんが作ることになっているが、最近は料理の味が少し変わり、日によって甘かったりしょっぱかったりする。子どもたちにも「おばあちゃんの料理はまずくて食えない!」と言っており、止む無く、玲子さんが夕飯の支度をするようになった。庭の手入れをすることが趣味で、草が一つも生えないほど手入れをしていたが、最近は、草むしりもあまりしていないようで、庭が荒れている。花を育てて展覧会に出品していたが、今年は、菊の手入れもしなかった。昼間何をしているかわからないが、一人で過ごしている時は、どうも寝てばかりいるようである。起きていてもコタツに伏していることが多い。

ハルさんは、人づきあいがよく近所の人たちとも交友関係があるが、高齢になり亡くなったり、病気になったりする人もいて、最近は、近所づきあいもほとんどない。訪ねてくるのは、近くに住む姉妹や二男くらいである。ハルさん自身も耳が遠くなっているため、他人とのコミュニケーションは面倒になっているようだ。

現在、介護サービスはショートステイを時々利用している。玲子さん夫妻が泊りがけで出かけるときなどをお願いをしている。

Ⅲ 相談シート 記入例 1

相談者: 嫁	担当者:	家族構成: 息子、嫁、孫2人
ご本人: 大正 昭和 年 月 日 歳	介護度: 要介護2	記入日:

3 認知症の状態 [D]

寝てばかりいる。
何度も同じことを聞く。

ご本人の気持ち
朝か昼か夜かわからん。
なんだかだるいわ。

現在の健康状態 [Ki] (身体と心の状態、視力低下や難聴などの感覚機能などのこと)

耳が遠い。

ご本人の気持ち
何か言っとるけどわからん。



1 家族が現在困っていること

ご飯を作って置いてあるのになかなか食べようしない。

4 習慣・生活歴 [S2] (生活パターン・好きなこと・嫌いなこと)

お花を育てるのが好きだった。
寝については厳しかった。
お料理が得意だった。

ご本人の気持ち
たまには外に出たいけど怒られるし、台所にも行けん。

ご本人の性格 [S1]

優しい。
にぎやかな事が好きだった。
みんなに頼られていた。

ご本人の気持ち
なにも出来なくなった。

5 本人を取り巻く人たちの関わり [K2]

近所の姉妹や息子たちがたまに様子を見に来てくれる。住み慣れた家を離れた。

ご本人の気持ち
孫はかわいい。

環境 [K2] (物理的なこと住環境など)

たまにショートステイに行くが、お風呂に入るのを嫌がる。

ご本人の気持ち
知らん人がいっぱいおる。

2 その時のご本人の様子

キョロキョロして食べようしない。
時間が経つと机に伏してしまう。

6 ご本人はどうしたかったのでしょうか

一日ゴロゴロ寝てばかりいるし、することもないので、あまりお腹がすかないのかもしれない。
家族でにぎやかに食卓を囲めば少しぐらい食べてくれるかもしれない。

介護者の状況・思い

性別(女) 年齢(55歳) 関係(嫁)

最近何をすることも面どくさそうにしてなかなか言うことを聞いてくれない。ご飯も食べないし、風呂にも入らないし、何度も同じことを言わせてイライラしちゃう。
病気になったり、汚なくてたら近所の叔母さんたちに何言われるかわからない。
息子たちは大きくなってお金がかかるからパートも出ないといけないし、せめてご飯くらいは早く食べてほしい。
昔は孫のめんどうをよく見てくれたおばあちゃんだったのに、どうしてこんななっちゃったの?

7 今後の関わり方のヒント

出来るだけおばあちゃんと一緒にご飯を準備したり、家族で食べたりしよう。ショートステイでは庭いじりをしてみよう。汗をかいたり手足が汚れたらお風呂に入るかも。

